

脳 あたまのたいそう教室 をきたえて毎日を楽しむ

計算シートもすらすら解答、脳が元気になります



3月14日(木)、役場新庁舎3階大会議室で「あたまのたいそう教室」の最終回が行われました。全9回行われてきた教室ですが、これからもさまざまなことにチャレンジし、脳に刺激が行くような生活を続けてくださいとのことでした。参加者の最高齢者尾島仁之助さん(大字岩田・95歳)は、「とても楽しかった。これからもこういうことを続けていきたい」と話してくれました。

春 渡良瀬遊水地ヨシ焼き の風物詩

燃えさかる炎と数多くの見物人

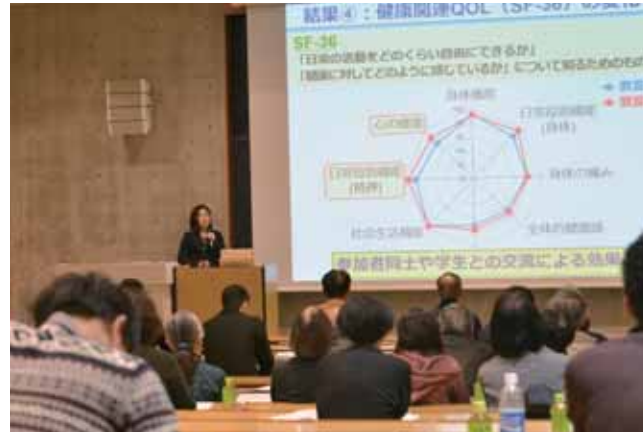


3月16日(土)、渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会によるヨシ焼きが行われました。

雨の少ない日が続いたことから、1,500haのヨシ原のほとんどを焼くことができました。ヨシ焼きは害虫駆除や良質なヨシの育成など、遊水地の多様な生態系の環境保全に役立つだけでなく、野火による周辺家屋などへの延焼防止も目的としています。

地 地域活性化研究所シンポジウム 域とともに

2月25日(月)、東洋大学板倉キャンパスで、地域活性化研究所シンポジウムが行われました。板倉町などと東洋大学が共同で行っている健康づくり・介護予防のための運動や食事をテーマとした取り組み成果の発表と、地域で活動する「邑楽・館林ポテトクラブ」の地産地消の取り組みが紹介されました。今後も町と東洋大学が連携して地域活性化や健康のためのプログラムが続けられます。



健康への取り組みなどの成果が発表されました。

ほ 板倉町児童館人形劇 ほほほのじかん

3月16日(土)、板倉町児童館で、人形劇「ほほほのじかん」が上演され、多くの親子が訪れました。

お母さんと見に来ていた上田結心さん(大字飯野・3歳)は、人形劇の中で「にんじんさんが体をごしごし洗ったら、茶色の体がオレンジになったところがおもしろかった。あと、水やりがうまくいかないで、ホースがぐるぐる回ってしまったところが楽しかった」と話してくれました。



たくさんの親子が人形劇を楽しみました。

一人ひとりに、校長先生から渡される卒業証書



仰 板倉中学校卒業式 げば尊し

3月13日(水)、板倉中学校の卒業式が挙行されました。卒業生は厳粛な雰囲気の中、一人ひとりが名前を呼ばれ、校長先生から卒業証書を受け取りました。

卒業生代表として答辞を述べた針谷和羽さんは、中学生生活の思い出とともに先生や家族に対する感謝の言葉を述べました。この日、133名の卒業生は期待と不安を胸に、新たな一歩を踏み出しました。

卒業生の合唱



3年間の思い出を澄んだ歌声にのせて



最後のホームルーム



苦楽をともにした部活動の仲間